



たすき
櫛

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

新年も早いもので1か月が過ぎました。時節がらインフルエンザやウィルス性胃腸炎が流行していますが、やはり予防にはこまめに手を洗ったり、うがいをしたりするのが一番いいようです。皆さんも体調の管理には十分気を付けていただいて、寒い冬をなんとか乗り切りたいものですね。

さて、1月2日、3日、恒例の箱根駅伝が行われ、東洋大学が往路・復路ともに1位となる完全優勝を成し遂げました。記録的にも昨年を大幅に上回る新記録での優勝です。私も市民ランナーの一人として箱根駅伝を楽しみにしていて、毎年テレビで応援しています。今年は朝霞に校舎のある東洋大学が大活躍し、地元市長として、新年早々とても明るい気分になりました。

駅伝といえば、昨年12月18日、山口県にあるセミナーパーククロスカントリーコースを会場に、第

19回全国中学校駅伝大会が開催され、埼玉県代表として、朝霞第三中学校女子チームが出場しました。1区ではエースの中川文華さんが圧巻の走りを見せ、2位以下に大きく水をあける区間新記録でたすきをつなぎました。そのリードを他の4人の選手で何とか守り抜こうと一生懸命に頑張りましたが、最終的には3位という結果になりました。参加した選手の皆さんは全国優勝を狙っていただけに、ちょっと残念な気持ちかもしれませんが、全国で3位なのでとても立派な記録だと思います。ここ数年、中学校の陸上競技では女子100メートルや女子4×100メートルリレーで全国制覇をするなど、朝霞市の陸上競技のレベルの高さを感じていましたが、今回の結果を見ても「陸上王国朝霞」はいまだに健在であると、とても嬉しく思いました。大会後に選手の皆さんが私を訪ねてくれて、お祝いの言葉をかける機会をいただきましたが、あの小さな体のどこにそんなパワーがあるのか不思議でなりません。3年生の皆さんは高校へ進学されても陸上競技を続けるそうので、今後ますますの活躍が期待されます。ちなみに、この大会で優勝した愛媛県の新居浜市立東中学校に陸上部はなく、全員が女子バスケットボール部員だったそうです。今回のコースが起伏の激しいクロスカントリーコースだったので、バスケットで鍛え上げた強靱なバネが彼女たちを優勝に導いたのかもしれない。ではまた。

朝霞市は 男女平等を進めています

— 市民意識調査結果から見えてきたこと⑪ —

「男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要な条件」

男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要な条件としては、「代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境をつくること」が39.9%で最も多く、「男性が家事や育児を行う能力を高めること」「女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること」「地域の保育施設や保育時間の延長など保育内容を充実すること」の順となっています。

性別でみると、女性では、「代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境をつくること」が最も多く、男性では、「男性が家事や育児を行う能力を高めること」が最も多いと回答しています。

また、女性が男性を大きく上回っているものとしては、「女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること」が、男性が女性を大きく上回っているものとしては、「年間労働時間を短縮すること」が挙げられます。

長時間働いて休みが取れないという働き方では家庭も社会も回らないというのが現実で、性別にかかわらず仕事と家庭のバランスを取りながらより多様な生き方ができるような社会システムが求められています。

*「朝霞市男女平等に関する市民意識調査」は平成22年6月に実施しました。

*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

問／人権庶務課 内2255 ☎463-2697

住民票の写し等の交付に係る 本人通知サービスを行っています

市では、本人の代理人や第三者からの請求により本籍が記載された住民票の写しや戸籍謄本などを交付したときは、あらかじめ登録をした方に交付したことを通知するサービスを行っています。

このサービスは、住民票の写しや戸籍謄本などの不正請求による個人の権利や財産の侵害の防止を目的としています。通知を希望する方は、あらかじめ登録が必要です。

登録できる方／本市に住民票（消滅された住民票を含む）がある方または本籍（除かれた戸籍を含む）がある方

登録方法／市役所総合窓口課、内間木支所、朝霞台出張所および朝霞駅前出張所で受け付け。登録の際には、運転免許証、旅券、住民基本台帳カード（顔写真付き）などの本人確認資料が必要です。

※代理人による登録の場合は、本人確認資料以外に委任状なども必要です。

問／総合窓口課 内2612～7

☎463-2605

ひとの推移

人口 13万1,248人（－147人）

男 6万7,043人（－88人）

女 6万4,205人（－59人）

世帯数 5万9,403世帯

（－103世帯）

平成24年1月1日現在（ ）内は前月比